



川島東保育所(豆まき)

●目次●

議案の審議から

2

代表質問

6

一般質問

7

市民のページ

14

クイズ

15

の審議から

12月定例会では、条例関係案7件、予算案3件、その他9件が提案され、原案どおり可決・承認されました。

総務常任委員会

▼吉野川市特別職報酬等審議会条例および吉野川市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定

質問

現行の施行規則では、備品購入費が認められているが、平成25年3月1日から施行される政務活動費では支出できないことになっている。その理由は。

また、現在各会派が所有している備品について破損や故障、今後必要が生じた場合の対応は。

あり、解釈にばらつきが生じやすいと考えられる。

このような理由から、誤解を生じることが未然に防ぐことが肝要と考え、今回提案した。

また、今後の対応については故障や破損、新たに必要が生じた場合、可能なものは市から貸与したい。

総務部次長

政務調査費は、公開が原則となっており本市では全ての支出に対し、領収書を添付して透明性を図っている。備品購入費については、消耗品などの区別に不透明な点も

◇以上異議なしで可決



平成24年12月議会
定例会

議案

日程：平成24年11月26日～12月14日

文教厚生常任委員会

- ▼吉野川市鴨島老人福祉センター別館の指定管理者の指定
- ▼吉野川市美郷老人福祉センターの指定管理者の指定
- ▼吉野川市ふれあい交流の家の指定管理者の指定

◇以上異議なしで可と決定

質問

指定管理期間が1年という理由は。

福祉総務課長

当初指定管理の特例を有する場合は1年という申し合わせがある。

質問

3件の指定管理料は。

福祉総務課長

鴨島老人福祉センター別館の指定管理料は18万9000円、美郷老人福祉センターとふれあい交流の家は無料。



老人福祉センター

産業建設常任委員会

▼平成24年度吉野川市公共下水道事業特別会計補正 予算

質問

雨水暫定対策事業の事業効果は。

下水道課長

雨水暫定対策事業施工により、対応降雨強度として時間雨量20ミリの降雨量に対応できる。そのため、局地的豪雨、台風などによる長時間の降雨時には浸水の解消はできないが、浸水の軽減、浸水時間の短縮には効果を発揮すると考えている。

◇以上異議なしで可と
決定

▼平成24年度吉野川市一般会計補正予算

質問

道路橋りょう維持費について、現在、どのような補修工事が多いか。

建設部次長

側溝蓋の修繕、舗装版破損の補修が7〜8割を占めている。それ以外には、道路擁壁の破損など、

路肩部分の修繕が多い。

◇以上異議なしで可と
決定

▼吉野川市美郷物産館の指定管理者の指定

▼江川・鴨島公園の指定管理者の指定

質問

美郷物産館、江川・鴨島公園の2施設は、今回指定管理者が別の団体に替わるということだが、これによって指定管理料の変動はあるか。

産業経済部次長

美郷物産館については、平成25年度からも引き続き年間200万円の指定管理料を支払うこととしている。

400万円の指定管理料だったが、平成25年度からは年間475万円の指定管理料となる。

◇以上異議なしで可と
決定

江川・鴨島公園については、これまでは年間



雨水対策工事現場

代表・一般

ここが聞きたい

質問

12月議会定例会では7名の議員が代表・一般質問を行いました。●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

①岸田 益雄

- 庁舎統合による市民サービスについて
- 子育て支援について
- 交通安全対策について
- 防災・減災について
- 吉野川市（麻植郡）の歴史の記録について

④北川 麦

- 飯尾敷地幼・小学校通学路などの安全対策について
- 自動車関係2税について

⑤岡田 光男

- 市長の政治姿勢について
- 不法投棄とアドプトプログラムについて
- 一般木造住宅の耐震化について

一般質問

②高木 純

- 学校再編計画策定委員会の答申案について
- 行財政改革について

③相原 一永

- 新たな歳入確保対策について
- LED照明の導入について
- 福祉の向上について

⑥枝澤 幹太

- 学校、家庭における食育の推進および学校給食の充実について
- いじめ問題について
- 南海トラフ地震、激甚災害時の対策について
- メガソーラーについて

⑦岸田 秀樹

- まちの活性化について
- 歩行者の安全通行の確保について
- 自転車利用者の交通安全確保について

平成24年12月議会定例会

代表質問



岸 田 益 雄
(薫風会)

発達支援や特別支援の今後の施設整備は

(質問)

「川島こども園」の整備で空き施設を活用する

(答弁)

◎質問

山川町堤外にある「発達支援センターよしのがわ」は、山川町身体障害者福祉センターの2階に設置されており、古い鉄骨造りで非常に狭く指導者と利用者が工夫しながら使っている。年間約2800人の利用者があり、近年利用者の増加から手狭になってきている。市として、今後利用者が増加すると見込まれる発達支援や特別支援の施設整備についてどのように考えているのか。

庁舎統合によって空き庁舎となる川島庁舎は「こども園」として改築されるが、ここに移転はできないか。また、川島庁舎の改築の進捗状況は。

3階にある子育て支援センター(ちびっ子ドーム)は改築中どのように業務を行うのか。幼保再編構想が発表されているが、民営化を進めるのか、また再編の今後のスケジュールは。

川島庁舎は「こども園」として整備するので、ここに併設はできないが、



阿麻名郡連事務所

○河野健康福祉部長

発達支援や特別支援は、今後とも必要不可欠な支援事業と考えており、より高い専門性をもって子どもの発達支援を支える同センターは、市中心的な担い手として活動していただいている。川島庁舎は「こども園」後、関係部署などと詳細を詰めて実施設計を完成させたい。

○宮本健康福祉部次長

幼保再編後の空き施設の活用も含め、児童発達支援事業の支援は今後検討する。

川島庁舎は「こども園」として整備するので、ここに併設はできないが、

子育て支援センターは、来年度は川島庁舎が改築工事にかかるため、関と連携し1歩でも2歩川島庁舎東側の「阿麻名郡連事務所」を借りて、業務を行う予定。

公立保育所の民営化は、現在指定管理をしている2か所の保育所が平成25年度までの契約となつているので今後、民営化基本方針を検討し、

保護者・住民の皆様への説明を行い、意見を伺いながら段階的に準備を進めていく。

「その他の質問」

◎質問 庁舎統合による市民サービスは。

◎総務部次長 玄関先に総合案内所を設置、フロアマネージャーを配置し各課の配置を示す案内板や、わかりやすい看板を設置する。

◎質問 通学路の交通安全の確保は。

◎副市長 ソフト面・ハード面の問題を関係機関と連携し1歩でも2歩でも前進できるように努める。

◎質問 防災・減災対策は。

◎防災局長 消防団詰所などの整備事業は、早急に進めたい。

防災行政無線は平成25年度に整備工事を行い、26年度よりシステムの運用を開始する予定。

◎質問 吉野川市（麻植郡）の歴史の記録は。

◎教育次長 麻植郡の歴史の資料などの展示は、山川庁舎整備計画の中で、現在検討を重ねている。

◎市長 これからは麻植郡の歴史の上に、新しい吉野川市の歴史を刻んでいきたい。

平成24年12月議会定例会

一般質問



高木 純

市立川島中を廃校にする学校再編案に市民は怒っている

（質問）

少子化に伴う学校の小規模化を解消

（答弁）

◎質問

学校再編計画策定委員会が学校再編計画をまとめ、その案を答申として教育委員会に提出するが（平成24年12月11日に教育委員会へ答申）その計画案に驚いている。

この案では、川島の中学生は山川中学校に通学することになっているが、あまりにも遠すぎる。川島町の山田地区からなら片道10kmの道のりになる。川島町の支所付近からでも7kmになる。川島の中学生は毎日往復で15

kmから20kmを自転車で行くことになる。

また、鴨島東中を廃校にして鴨島一中に統合する案では、上浦から鴨島一中まで片道6kmになり、鴨島の中学生も遠距離通学になる。

小学校も大変な計画を立てている。子どもの歩く速度は1km30分かかると、計画では3kmを超える通学距離になるところもある。

この答申は子どもの通学距離を考えず、生徒数を増やすことだけを優先

しているが、そうなったのは教育委員会の諮問理由などで適正規模を優先して通学距離を考える適正配置には触れていないからだ。

○辻内教育次長

教育委員会では小・中学校の再編を少子化に伴う学校の小規模化を解消し、子どもたちにとって、よりよい教育環境を整える施策として位置づけている。

◎再問

生徒に人数をそろえることのみを優先して学校を減らせば、通学距離も遠くなり、市の子育て環境は一気に悪化する。学校まで遠すぎて歩いて行かせられず、毎日送り迎えをしないといけなくなる。そうなると吉野川市に引っ越してくる若者がいなくなり、宅地造成されても家は建てられない。学校というのは地域の



川島中学校

中心となるものであり、無くなればその地域は寂れるし、人口も減少する。そうなれば地域経済も衰退する。
市長は公約で子育て支援をあげているが、どう

考えるのか。

○川真田市長

方針決定の際には、市長としても意見を求められるので、適切な判断をしたい。

新たな歳入確保策は

(質問)



相原 一永

市有財産等のインターネット公売などをする

(答弁)

◎質問

現在、地方自治体の財政状況は非常に厳しく、どこも歳入確保のため身を削るような努力をしている。本市においても、市有財産の売却や納税相談・納付指導を行い収納率の向上を図るなど鋭意努力をしているようだが、市の財政は決して改善されていない。特に歳入未済額は平成23年度末で、一般会計・特別会計合わせて、8億4000万円を超えている。この現状を踏ま

え、市としてはどのような新たな歳入確保策を考えているのか。

○桑村総務部長

収納率向上対策として口座振替の積極的推進・上下水道使用料をコンビニ収納にするなど収納率の向上に取り組んでいる。また、休日の納付相談を毎月月末の日曜日に実施し、平日納付できない納税者に対応している。また、滞納整理にも重点を置き、督促状、勧告状などの発送、電話に

○桑村総務部長

コンビニ収納は導入済みの上下水道使用料の実績や導入時の経費などを総合的に勘案し検討したい。また、ファイナンスプランナーの活用は検討課題としたい。

よる納税催告・呼び出し通知の発送で滞納処分を実施している。
今後の歳入確保策としては、使用料の見直し・納付の利便性向上対策の拡大・市有財産等のインターネット公売などに取り組み。



山川町西久保の市有地

○増富総務部次長

公有地の処分として、本年9月から10月に一般競争入札参加を募ったが入札参加者がなかった。引き続き不要な財産の処分を進めたい。

[その他の質問]

◎質問 公共施設の蛍光灯などLED照明に交換してはどうか。

○総務部次長 適切な時期に最適なLED照明を選定し採用に向けて検討したい。

◎質問 介護支援ボランティア制度を導入しては。

○健康福祉部長 本制度導入には様々な課題があるので、協議・検討する。



北川 麦

通学路の安全対策は

(質問)

できる事から改善する

(答弁)

◎質問

政府は、9月に入り、文科省、国交省などで、全国の通学路の視察検査を行い、6万6000か所の危険と思われる通学路を発表した。

3月議会定例会の質問以降、飯尾敷地幼稚園および小学校の通学路について、どのような対策がなされ、成果があらわれたのか。

○増富総務部次長

関係部局の職員で構成する「交通事故防止対策

委員会」を5月に設置

し、市内幼稚園、小学校の通学路の危険箇所について、現地確認や交通安全施設などの点検を行った。

庁舎統合による職員通勤者の飯尾敷地小学校前県道の利用については、極力国道を利用するよう周知をしている。

○貞野教育次長

3月定例会で指摘のスクールゾーンの設置については、警察などと協議したが課題が多く、実現



飯尾敷地小学校のスクールガードによる立哨指導

は難しい状況だが、児童、PTAと地域の関係機関が一体となった交通安全キャンペーンによる運転手への啓発活動、「交通事故防止対策委員会」による通学時間帯に合わせた現地調査や、横断歩道を知らせる新たな路面標示を行った。また、スクールガード

◎再問

通学路での交通事故は運転者のマナーやモラルに起因するところが大きいと思うが、運転者への注意を喚起することも大

切だ。そして今後も、できることからまずやっていくという姿勢が必要だ。その決意は。

○河野副市長

警察などの協力により、市内各学校の危険箇所などの点検が終了した。それを踏まえ改善できるところからしっかりと改善し、交通安全対策がさらに向上するよう努力していきたいと考えている。

【その他の質問】

◎質問 自動車関係2税が見直されると、市の財政への影響が心配されるが。

○市長 代替財源の確保を、市長会などを通じ、国、県に強く要望したいと思っている。



岡田 光男

市民の生活状況を踏まえた予算編成は

将来を見据えた課題に積極的に取り組む

(答弁)

(質問)

◎質問

市長の所信表明では、市民の生活状況などに触れていない。合併後5年間で市民の懐から163億円のお金が消えている、こうした状況を認識しているのか。

また、20年30年後の私たちの食料をどうするのか、これからは農業政策が最重要課題となつてくると考えるが。

○川真田市長

経済不況を反映し、雇用情勢の悪化、社会保障

費の増大などにより市民の生活は大変厳しいと認識している。

○井内産業経済部長

食糧の安定生産は本市にとってますます重要な課題と考える。本市の人と農地問題を改善するために、*人・農地プラン作成事業を積極的に活用していきたい。

◎再問

市長の公約に、地場産業の振興を掲げているが、産業の振興と同時に

地域農業の発展のために
人・農地プランを
作成しよう



全国農業会議所発行のパンフレット

雇用促進の施策も必要と考える。

また、再生可能なエネルギー政策の取り組みについては。

○井内産業経済部長

それぞれの地域における、農・商・工の地場産業を結びつけることにより、地域に密着した雇用機会の拡大につなげたい。

○河内環境局長

住宅用太陽光発電システム設置補助制度の導入については、県内の今後の状況を注視しながら検討したい。

○桑村総務部長

災害時などの情報伝達手段としての情報通信整備事業や木造住宅耐震改修支援事業、子育てや教育の振興対策として川島認定こども園の整備事業、医療・福祉の充実対策として麻植協同病院改築にあわせて周辺整備をする支援事業などがある。

◎再々問

平成25年度予算編成の重点は。

[その他の質問]

◎質問 ※アドプトプログラムによる道路周辺の美化は。

○環境局長 ※県のOURロードアドプト事業に関する覚え書きに基づき、環境美化に努めたい。

◎質問 一般木造耐震改修支援事業の募集戸数を大幅に増やす考えは。

○建設部長 市民の要望にあった対応をしたい。



※人・農地プラン作成事業とは……

農業従事者の高齢化が進むなか、5年後10年後も地域の農業が持続できるように、地域の中心となる経営体を選んだり経営体に農地を集積するなど、人と農地の問題を解決するための計画を作成する事業。

※アドプトプログラムとは……

市民と行政が協同で進めるまち美化プログラムのこと。「アダプト」とは「養子縁組する」という意味。企業や地域住民などが道路や公園など一定の公共の場所の里親となり、定期的・継続的に清掃活動を行い、行政がこれを支援する仕組み。

※県OURロードアドプト事業とは……
徳島県内の県道を清掃する制度。



枝 澤 幹 太
えだ ざわ みき た

食育推進の取り組み状況は

(質問)

学校食育リーダーが中核となり組織的、計画的に推進に努めている

(答弁)

◎質問

市内の子どもたちを取り巻く環境の現状、特に食育について今大変重要な時期を迎えているのではないか。

例えば朝食をとらない、偏った栄養の摂取などで食生活が乱れ肥満、やせ形の体系を生みやすくしている。それらは子どもたちの健康に直接的に影響をおよぼすことになる。

食を通じて地域を理解すること、食文化の継承を図ること、自然の恵み

や勤労の大切さを理解すること、それら全てが健康な心と身体を作る基礎となり食育の根幹をなすと思われるが、学校、家庭での食育に関する取り組み状況は。

○辻内教育次長

食育の重要性を踏まえ食育の推進を重要な施策として位置づけ、学校食育リーダーが中核となり給食試食会、授業参観などで組織的、計画的に食育の推進・啓発に努めている。



給食センター



小学校ではバランスのよい食事や食品の選択について、中学校では生活習慣や食事と健康についてなど学習している。また、地域の協力により農作物の栽培や収穫をすることで物づくりの苦労を学んでいる。そして、「食育だより」を発行したり、毎月19日を食育の日に設定し家庭と連携した指導、啓発に努めている。

○辻内教育次長

市内産食材の活用率は、19・38%、県内産は50・92%である。

新給食センターは、県内

内で2番目に大きな規模であり食材全てを市内産で賄うのは無理がある。食材は特に注意が必要で、アレルギーなどの対応もあり、現時点では市直営でやっていくのが適切であると考えている。

【その他の質問】

一方、給食センターでは、児童生徒を対象とした見学会や、ヘルスメイトと協力し、ふれあい食体験を実施し食育を推進している。

○質問 大規模災害発生時における通信機能の確保には、衛星携帯電話が有効だと考えるが。

○防災局長 孤立化集落対策の緊急通信手段として、衛星携帯電話の導入を現在検討している。

○再問 地産地消の取り組みは食材納入の数字を比べると前回質問した時とあまり変化がないようだが、改善するために民間委託し、市内産の食材や、県内産の食材を増やす努力が必要ではないのか。



岸田 秀樹

は まちの活性化についての方向性

(質問)

懇談会などにおいて協議する

(答弁)

○質問

駅前活性化について以前から質問してきたが、市民の方から駅前の銀座通りあたりに屋台を設置してはどうか。そうすれば夜、人が集まってきて活気づくのではないかと、それに銀座通り周辺は空き店舗、空き地が増えてきているので、それらを活用していかなければ、町を活気づかすことができないのではないかと。

過去に、中心市街地を活性化することを計画的に行うことは非常に困難

を伴う事業であり、商店街などの活性化再生に向けては、関係者のやる気・意欲は最も有用な鍵になると考えているとの答弁があった。しかし市民の目線から見れば、商工会議所、地元の連合会などと協議している内容が見えない状況に変わりがない。市としては、市民の方々にわかるような方向性をだせるのか。

○大久保産業経済部次長 活力が低下している中心市街地を活性化させる



銀座商店街

ためには、大変困難を伴う事業であると言われていないと考えている。今後、吉野川商工会議

所・吉野川商工会との懇談会においてまちの活性化について協議をすすめているが、地権者や経営者のやる気が最も重要な鍵となる。どこが主体であるかは、実情に合わ

ないのではないかと。

◎再問

今回市長の公約の中に、都市計画マスタープランを策定し、各地域の特徴ある町並み形成のあり方を検討するといった。それならば、まず市が手を挙げて町の駅前周辺を活性化させるために市民の参加を呼びかける必要がある。市民に協力を願うアイデアを提案してもらおうなど、市民参加の駅前活性化をすすめていけないか。

[その他の質問]

◎質問 歩行者などの安全確保に中心市街地の既設歩道の改良は。

◎建設部次長 快適なバリアフリーの歩行者空間の整備に向けて検討していく。

◎質問 自転車通学の生徒に対する交通安全指導は。

◎教育次長 自転車運転免許制度などを試行的に実施する方向で考える。

○大久保産業経済部次長 活性化については、利害関係者・学識経験者などが参加した懇談会の中で協議を進めていききたい。

追悼

●平成24年11月11日に塩田吉男議員が逝去されました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。

議会広報特別委員会
視察

平成24年10月15日から10月17日まで、石川県津幡町議会、岐阜県安八町議会、滋賀県甲賀市議会へ、議会広報の編集作業などについて視察を行いました。



滋賀県甲賀市役所にて

● ● 会議録をご覧ください ● ●

議会だよりに掲載された事柄以外の質問や答弁の内容を吉野川市のホームページ内に掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。



吉野川市議会会議録

検索

本会議・委員会の傍聴をしませんか



皆さんが選んだ議員の活動や行政が今、どのようなことを行っているかを知っていただくために、本会議などの議会の傍聴をしませんか。
どなたでも傍聴できます。
お気軽にお越しください。

TEL 22-2241

市民のページ

日本の政治について



鳴島町森藤

大久保 長成

議会制民主主義は理想的な国の運営制度と一般的に考えられています。が、本当にそうなのかと疑問を持つのは私ひとりでしょうか。

たとえば今問題とされている国政選挙の際の1票の格差について思うことがあります。国連では人口10万人の国も10億人の国も採決の時は同じ1票を行使し格差は云々しないように、都道府県をひとつの国とみなして同じ権利を持たせるのです。

1票格差と関係ない話ですが、昔の日本は人口でなく石高で国(藩)の大きさを表していました。戦後の日本も地方があつたからこそ生きてこられたと思います。昨今問題の原子力発電にしても嫌なものは地方に押しつけ、政治は人口の多い都市の人間に任せなさい(民主主義の主たる属性である多数決原理ではそうなる)というのは少し虫が良すぎると思います。何もかも全てを多数

決で決める世の中になれば地方はますます荒廃するかも知れません。水や空気などの自然環境は、地方・農村山村漁村があるからこそ保たれていることを国民が理解すべきです。よくよく理解すればものの方考え方も自ずと変わるのではないのでしょうか。(人口の少ない地方には様々な面でゆとりがあり、大都市市街地は危険物の巣としか私には見えないのです。)

以前、国会議員の年金

問題をテレビが取り上げた時、ある議員は「私も生活があるので議員年金は有難い」と言っていました。私はそれが悪いとは思いませんが、職業議員になりはてているのではないかと思えました。

現在の国会議員を見ると良くわかります。自分の確たる主義主張がなく、いかに当選するかだけの活動、このような人達が人のために働くとは到底思えません。日本は曲がりなりにも一応政党政治が行われており、選挙民に所属政党議員として選出されたのに他党にくら替えしたり、挙げ句に政党助成金を持ち逃げしても知らん顔したり、国民をバカにしています。百人が百人皆そういう人でないことも分かっています。

国民は不満を誰かにぶつけます。それが議員の方々に向かうのは仕方がないのです。現実には良

くも悪くも政治をしていただくだけならば、国民が行き出るのは選挙の1票です。それをしないで文句を言うのは筋違いだと思いますので、私は必ず投票に行きます。投じた1票が生きていることを願いながら。吉野川市議会が全国のモデルになるよう期待します。



議会風景

吊し柿



山川町川田

原田親光

60年前の教え子から、手製の干し柿をいただいた。さすが柿の本場で白い粉も見事だった。丹精込めた食品と感心した。早速、子どもや入院中の家内に配ると「食べたことのないおいしさだ。」とよろこんで食べていた。皮を剥き、干し、もみと思いがこもつている。贈ってくださった気持ちが伝わり感謝でいっぱいになった。

つき立ての餅もでんぷんがβ化し、光熱も水もなくて、せっかくの即席しるこなどの役に立たぬ。むかしの武士は合戦時に腰につけたかち栗や干し柿を歩きながら味わい楽しんで。干し柿はかさが少なく、リュックサックの空間に押し込め甘いカビをおいしがるのだ。

デリオスは、神の、ピロスは、贈り物、という意味で、神からの贈り物だ。生柿は栄養があるが、干し柿も虫に刺されると酢につけて塗ると痛みが止まる。

登山の遭難を予想して、多くの人が餅・即席ラーメン・即席しるこを用意するという。登山となると、かさ高が低くカロリーの高いものというようになる。ところが、

乾燥食品としてaでんぷん粉を85℃以上のかきもちが理想的だが、かさが高く、破れやすい。水分も吸収するから栗や柿にはかなわない。当地のように洪水時で避難には簡便だ。柿の学名はデリオスピロス・カキである。日本原産でギリシヤ語で



クイズ

春に咲く花です。
漢字をひらがなに直してください。

- ① 馬酔木 ② 葶
③ 蒲公英 ④ 石楠花
⑤ 雛罌粟 ⑥ 蓮華草
⑦ 葉牡丹 ⑧ 君子蘭

◎ 正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。
◎ 応募要領／はがき、またはファックスに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。

応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか。

◎ 送り先／〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1

TEL(0883)22-2241 FAX(0883)22-2242

◎ 締め切り日／平成25年4月5日(消印有効)

チョットひと言

☆ 山川のぶどう園での子ども達の笑顔、見ている私までなごやかな気持ちにさせてくれました。(鴨島町 井上さま)

☆ 高開石積みは山間部ならではの先人の知恵と工夫、そして高い技術力に感心します。まして幻想的な空間は、美しいと思います。(川島町 大野さま)

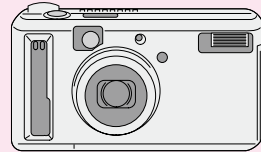
☆ 美郷の梅酒まつりに行きましたが、天候も良く梅酒も美味しく楽しい時間を過ごせて良かったです。各家により梅酒の味が違っていたのが良かったです。(川島町 小西さま)

◎ (前回の回答) 3 高開石積みライトアップ 【応募総数】14通

募 集 要 項

- テ ー マ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など。
- 規 定** モノクロおよびカラープリント 2L判～四切・W四切組写真も可（3点まで）住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 締め切り** 平成25年4月30日（消印有効）
発行は5月です。季節感のあるものをお願いします。
- そ の 他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用およびトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応 募 先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

募 集



表紙の写真

市民の皆さんの声を掲載

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観などに渡って文章を募集します。フアックスでも結構です。

： 規 定 :

- 400字詰原稿用紙2枚以内
- 住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記

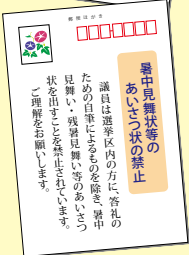
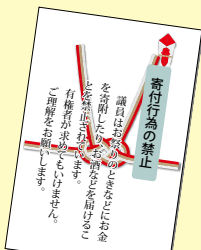
● 締め切り

平成25年4月5日（消印有効）

* 投稿多数で掲載できない場合は、ご容赦ください。校正などは、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

： あ て 先 :

〒776-8611
吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242



あ と が き

先日、大阪市で起こった事件は本当に痛ましい事件だったと思います。体罰をした先生は今後、司法の場で厳しい判断が下されることでしょう。これは当然のことだと思いますが、マスコミはこの事件を絶対悪として攻撃し、今この時も現場で悪戦苦闘する真面目な先生たちの足を引っ張り真摯な努力を台無しにするのではないかと危惧します。

確かに体罰はよくないことだと思えます。しかし、日本では長くスポーツにおいて、精神論・根性論を始めとした特殊な思考が根付いています。中には素晴らしい伝統もあり、今回の問題をきっかけに、その全てを見直すべきだとは思いません。

先。しかし、もう一度果たして今の時代に合った指導が本当に成されているのか真剣に考える時期に来たんだと思います。

これからの大変な時代を生きる子ども達のために我々大人はまだまだしなければならぬことが沢山あると感じる今日の頃であります。

増富 義明

編集委員 北川 麦
委員 長 相原 一永
副委員 長 岡田 光男
委員 福岡 正
委員 増富 義明
委員 近久 善博
委員 山下 智
委員 北川 麦